

## 令和5年度 事業報告

### 1. 概要（理事長： 窪田 茂）

未だコロナウィルスの感染が残っているものの、今年度はそれを意識する必要もない程に、人々が活発に活動をするようになってきました。JCDでも、様々なイベントが対面で行われるようになり、また、海外との交流イベント「East Gathering at Hong Kong」も再開され、リアルなコミュニティが復活してまいりました。

その一方、今年の元旦には、能登半島地震が発生し、たくさんの方が被災し、たくさんの方が犠牲になってしまいました。JCDは全国組織として、このような被災地への支援をする為の仕組みづくりを行っていき、必要な支援が迅速にできるような体制を構築し始めました。義援金の募集も行い、適切な場所へと支援を届けていく予定です。

現在の正会員数は、450～460人程度を維持しておりますが、長く正会員、賛助会員でおられた方々に対して、その感謝の印として、会員名簿への星マークの追加と、10年、20年、30年、40年、50年というキリの良い年に、感謝状などをお送りする事に決めました。

JCDの活動は、方々で評価をされており、今年もJAPAN SHOPへ出店し、デザイナーの展示やトークイベント、プロダクトオブザイヤーの展示など、活発な活動が行われます。

そのプロダクトオブザイヤーも年々盛り上がってきており、受賞したいと思う企業が増えてきた事は素晴らしい事だと思います。

コロナ禍に行ったJCD60周年記念事業での全国支部トークリレーは好評により、「デザインサーキット」として毎年半数の支部が開催をするイベントへと発展しました。

### 2. 各事業の報告

#### (1) 事業部（部長：大滝道晴）

##### ① [空間デザイン賞委員会]

○JCD側メンバーとして、一次審査委員、集計会議、各会議（一次、二次、三次）

贈賞式等に出席。

##### ②[Soda委員会]

○Soda定例会議出席

○Soda水元小学校パンフレット作成分科会出席

○東京ミッドタウン リエゾンセンター「親子のキッズワークショップ」講師参加

○\*その他

③[賛助委員会]

○定例会議出席

○「17th プロダクトオブザイヤー2023」の企画実行を行う。

○「同上」の新規二次審査員の選定。†

○「同上」の内容、集計、二次審査の実行。

○「同上」の入賞、各賞の受賞式を実施。

○「同上」の二次審査フライヤー、盾、賞状の作成。

④[その他広報委員会、ジャパンショップ JCD ブース委員会]

○その他適時において定例会議出席。

\*\*\*\*\*

⑤「全国支部長会議」

○オブザーバーとして、定例会議出席。

○仙台・松島「全国支部長会議」出席。

\*\*\*\*\*

\* 『ドリーム オブ ジョブ ツアー in 五反田』(Soda 扱い)

JCD (五反田の企業、会社、団体) を代表して、中学二年生に「職業」をテーマにした講師を行う。場所：品川区立「日野学園」(小中一貫校)。

① デザイン賞委員会 (委員長：笠原英里子)

第5回目となる「日本空間デザイン賞 2023」は日本で最大の空間デザインアワードに成長している。応募受付期間を2023年3月31日～5月15日までの46日間とし、年間スケジュールを開始した。応募総数は779作品となり、国内からは739作品、海外から40作品の応募があった。応募期間締切り後、6月1日～9日までWEBによる一次審査が行われた。JCD、DSA 両協会90名の審査員が担当し、6月17日の調整会議を経て入選/Long List430作品が選ばれた。その後6月26日～7月4日までWEBの二次審査が行われ34名の審査員で選出、7月8日に調整会議が行われ入賞/Short List141作品が選ばれた。

三次・最終審査会は審査員による事前WEB審査が8月3日～21日に行われ、8月26日に東京デザインセンターで議論形式の公開審査が開催された。審査の様子は会場からLIVEで配信されている。審査員は総勢11名でAstrid Klein氏、木田隆子氏、佐藤可士和氏、佐藤寧子氏、田中仁氏、Tino Kwan氏、内藤純氏、中村拓志氏、水野学氏、森井良幸氏、湯澤幸子氏、そして審査委員長にJCD 窪田茂理事長、審査副委員長にDSA 鈴木重千代元会長があたり審査の進行を務めた。この三次審査会において各11カテゴリーの金賞、銀賞、銅賞そして今年新設された審査員特別賞が

決定した。この新賞は金・銀・銅以外の作品から審査員独自の視点で各1作品を選ぶものである。続いて非公開で KUKAN OF THE YEAR3 作品、また今年は惜しくも僅差で敗れた1作品が KUKAN OF THE YEAR RUNNER-UP を受賞した。またサステナブル空間賞では昨年同様持続可能性を考慮した37作品が表彰された。

10月20日東京デザインセンターにおいて贈賞式が行われ、金、銀、銅賞の贈賞、そして KUKAN OF THE YEAR、KUKAN OF THE YEAR RUNNER-UP の発表を行った。発表直後ではあるが、KUKAN OF THE YEAR 受賞者によるトークイベントを行い、作品の意図に迫った。

2024年2月2～15日の期間 GOOD DESIGN Marunouchi において「日本空間デザイン賞2023展」が開催され、KUKAN OF THE YEAR から銅賞までの作品展示、KUKAN OF THE YEAR 受賞者によるトークイベントと懇親会が行われた。

3月12～15日開催の JAPAN SHOP でも同様の受賞作品の展示を行っている。

2023年11月21～22日2回目となる「デザインツーリズム視察ツアー」が JCD、DSA 有志30名で行われた。リボンチャペル、KUKAN OF THE YEAR 受賞作品広島平和資料館を作者に解説してもらいながら視察する企画で、受賞作を実際に感じ考えることを目的とする活動である。

2023年11月10日株式会社T00主催、Design surf seminar に参加、「拡張する空間概念—地中から空中まで」のセミナーを開催した。

## ② Soda 委員会（委員長：新藤 力）

### 1. 東京ミッドタウン・キッズワークショップ2023(2016年から毎年参加)

8/10(木)、11(金・祝)の2日間、(財)日本デザイン振興会主催の「東京ミッドタウン・キッズワークショップ2023」にてワークショップ開催。まだまだ感染予防に気をつけながら、今年も2日間に分散して実施いたしました。当日体調不良によるキャンセルも有りましたが、両日で19組の親子が参加。今年は宇宙屋(無重力を表現したお店)が衝撃的でした。他にも折りたためるお店、家の近くに実際にあるブックカフェの再現などこれまでになかったコンセプトのお店が登場。ロボット屋さん、最近流行りのかき氷屋さんなど、ユニークな19店舗が完成しました。

### 2. 11/11(土)・13(月)、葛飾区立宝木塚小学校(5年生63名対象)で出前授業実施。

対象が5年生でしたが、なかなかの完成度。サラサラっとフリーハンドでメニュー板や、お店のサインをレタリングしたり、イラストを描いてしまう子のスキルに驚きました。

### 3. 12/2(土)品川区立日野学園で開催された「ドリームジョブツアーin 五反田バレー2023～中学生からの合同しごと説明会」に大滝講師を派遣。

### 4. 12/10(日)、日本建築学会「子ども教育支援建築会議全体会議・シンポジウム」にて活動報告。

### 5. 2/22(木)、この3年見送られていた杉並区立浜田山小学校での出前授業を再開(6年生132名)。

一度中断したことを再開する難しさを痛感しました。しかし、子どもたちは自由です。アーティスティックなお化け屋敷は“爪痕”のテクスチャー。お寿司屋さんのターゲットは“食いしん坊”。受験校だけあってオックスフォード大学・ハーバード大学を目指す“塾”がテーマになりました。今後、2/27(火)流山市立西初石小学校(6年生 129名対象)にて出前授業、2/28(水)沖縄県西原南小学校(6年生 66名対象)にて出前授業を予定しています。

このほか支部では、11/17(金)九州支部主催/「デザインスクールキャラバン In 高木小学校」を実施、11・12月北海道支部主催/札幌市立桑園小学校で出前授業が実施されました。また、東北支部は山形市の小学校、九州支部も鹿児島県の小学校にアプローチをしています。

### ③ シンポジウム委員会（委員長：飯島直樹）

シンポジウム委員会企画、ファシリテーターにデザインジャーナリスト高橋正明氏が登壇する「タカハシツキイチ」は、R5年度も興味深いゲストを招いて実行されました。We+安藤北斗、林登志也氏（6/2）、山崎健太郎氏（8/30）、芦沢啓治氏（11/1）、鈴木文貴氏（1/25）など。ちなみに山崎健太郎氏は2023年度グッドデザイン賞大賞、JIA日本建築大賞とW受賞されました。ツキイチの発信が時代の発信であることの証左となりました。

### ④ 広報委員会（委員長：水谷晶人）

#### 【基本方針及び事業内容】

JCD広報委員会では、改めて広報委員会の役割を果たす為にコミットする年代、コミットする相手(会員・非会員)に対してJCDが今持っているツール[ウェブサイト、SNS、パンフレット、機関誌等]がどの相手にコミットするのかを整理を行い。その傾向を踏まえた情報発信及び製作を行う事としています。

- 1) 提案した「広報のシステム化」に準じてJCDウェブサイトの更新及びJCD SNS (Facebook、Instagram、X、)の情報発信の実践。
- 2) JCDパンフレットvoi.06 [4500部] の発行
- 3) SHOKANKY087(JCD WALLPAPER 01) [4000部] の発行
- 4) Instagramのフォロワー数増加の施策「デザイナーのオフィス訪問」第4回(SOL style)、第5回(oriharamiki design office)、

### ⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

長かったコロナ禍もあけて、国際委員会の活動もコロナ禍以前の形に戻ってきました。今年度は4年ぶりとなるEGも開催されました。

10月5日の移動日に台風の影響で移動する便が遅れ、初日のミニセミナーには間に合いません

でしたが、ウェルカムパーティーに無事到着し、10月6日のスタートは、コロナ禍期間中に新しくオープンした香港の M+（倉俣さんの寿司清が移転され再現されている事でも有名です）での館内ツアーとセミナーと晚餐会。10月7日にはこれも新しく出来た K11 でのセミナーとツアーとパーティーとゆう、香港側が用意してくれた素晴らしい内容の EG を体験する事ができました。JCD からは総勢十三名の参加となりました。次回の EG は日本側で開催することに香港、台湾の皆さんの同意を得ることもできました。（本当は今回が日本開催の順番でしたので）APSDA の方は、相変わらず内記の規程などをオンライン会議で月に一回程度行われているのですが、日本のみ JID と JCD の二団体が参加していることや、各国の団体は一つに絞るとゆう事から、ある程度の距離をとりながら、孤立はしない方向で付き合い合っていければと考えています。

⑥ 賛助委員会（委員長：羽隅斉明）

プロダクト・オブ・ザ・イヤー2023

【概要】

第17回を迎え、前回同様、一次審査と二次審査で開催。冊子からの正会員の投票の一次審査では製品カテゴリーを設け、投票しやすい形とした。各カテゴリーの上位ノミネート計10製品をグランプリ、準グランプリ候補に、サステナブル賞は該当製品の上位5製品を候補とし、各企業によるプレゼンテーションによる二次審査を、10月27日（金）にクラブテックギャラリーにて開催。審査員は窪田理事長をはじめ、折原理事、白木ゆみ香正会員、外部から(株)DESIGN FOR INDUSTRY 北川大輔氏と日経デザイン元編集長の花澤裕二氏の計5名の方へ依頼。

開催時間を早め、各製品のプレゼンと質疑応答時間を長くし、審査員同志の議論も設け改善を図る。また最終審議により審査員特別賞を新たに設けた。ライブ配信も実施。

【応募・一次審査結果】

応募数：57 製品（内サステナブルエントリー25 製品） 投票率 40.7%（184/452）

■POY 一次審査通過製品・企業

エントリーNo.	製品名	企業名
2305	DNL 本体幅 5mm 極細 LED モジュール MU-LED	DN ライティング株式会社
2311	TeTaTeT Flute	株式会社サンズ
2320	Plectere Aline	Knoll Japan 株式会社
2324	アルビームインテリア スリットコーニス照明用建材	不二サッシ株式会社

2327	ピノアース足感フロア	株式会社ウッドワン
2332	瓦 slice mosaic	株式会社モザイクジャパン
2336	蘇生シリーズー竹材の循環再生利用ー	京都アンプリチュード 株式会社
2340	「ニューノス」for sign フォーサイン	セイショク株式会社
2345	Continuum (コンティニューム)	株式会社九銘協
2347	SAKYU	株式会社アダル
2355	Prestige	株式会社マストレ

■サステナブル・プロダクト賞 一次審査通過製品・企業 エントリーNo.順

エントリーNo.	製品名	企業名
2326	シラスクロス	リリカラ株式会社
2327	ピノアース足感フロア	株式会社ウッドワン
2336	蘇生シリーズー竹材の循環再生利用ー	京都アンプリチュード 株式会社
2340	「ニューノス」for sign フォーサイン	セイショク株式会社
2345	Continuum (コンティニューム)	株式会社九銘協

【二次審査結果】

受賞	製品名	企業名
グランプリ	Plectere Aline	Knoll Japan 株式会社
準グランプリ	DNL 本体幅 5mm 極細 LED モジュール MU-LED	DN ライティング株式会社
準グランプリ	SAKYU	株式会社アダル
サステナブル・プロダクト賞	「ニューノス」for sign フォーサイン	セイショク株式会社
審査員特別賞	瓦 slice mosaic	株式会社モザイクジャパン

グランプリをはじめ受賞 5 製品は、「商店建築」「日経デザイン」に加え、建材ナビ SumaiRing へも掲載。

表彰式は2024年の賀詞交換会内で実施。また3月12日から開催のジャパンショップ2024、ブース内で受賞、入賞の上記12製品展示及びトークショーへの参加。

- ⑦ 空間委員会（委員長：谷尻 誠）・・代行：飯島シンポジウム委員長/空間デザイン機構理事  
「年鑑日本の空間デザイン」刊行と、JAPAN SHOPでの「日本空間デザイン賞」展示を主な活動とし、空間デザインの振興を支援しました。林琢磨氏による年鑑のBOOKデザインは、3年を継続し、空間デザインの書籍での表現伝達において優れた業績となっています。

JAPAN SHOPでの展示は、近年の来場者を巻き込むコミュニケーション展示と比較し、スタティックな面があり、今後展示手法を検討することになります。

- ⑧ 交流委員会（委員長：折原美紀）

・1月19日恒例の賀詞交歓会を東京デザインセンターB2ガレリアで開催。

また関東支部の皆さんにもご協力いただき、208名ものご参加を頂きました。

・リアル女子会をコロナ禍開催できずにいましたが、ようやく開催できる運びとなりました。3月11日に正会員のアーティスト藤田あかねさんをトークゲストに丹青社さんのトークラウンジをお借りして開催。18人のご参加を頂きました。

・JCD CYCLE活動の一環として、3月21～22日船場さん主催の「東海のモノコトづくりから Social Design を一緒に考えるツアー」に折原・村上敦さんと共に参加。

- ⑨ Japan Shop 2023 JCD ブース実行委員会（委員長：劔持良美）・・代行：永井副理事長

期間：2023年2月28日～3月3日、4日間開催

場所：東京ビッグサイト 東4ホール

動員：来場者は延べ68,500人（JAPAN SHOP/建築建材展/ライティングフェア）

オンラインは延べ86,000人

設計：SOL Style（伊東 裕・劔持良美）

実行：委員長/劔持良美、副委員長/木村倫香・戸矢崎弘美・羽隅斉明・村上 敦

委員/大西 亮・松田好且・奥 俊輔・菊永浩司他

施工：(株)ボックスワン（3社相見積の上、最安値業者を選定）

協力：日本経済新聞社（2019年より出展ブース無償、2022年より+協力金）

経緯報告

2023年は24コマ、その内6コマ相当分をPOY（プロダクトオブザイヤー）として賛助委員会が負担する形とした。

日本経済新聞社のJCD企画に対する評価も高く協力金増額もあり、演出強化、デザイナー紹介

冊子等も作成。JCD に対する PR 効果は大きいと考える。

- ・2019 年 POY 単独出展（4 コマ）
- ・2020 年 POY 単独出展（8 コマ）
- ・2021 年 JAPAN SHOP 2021 開催中止
- ・2022 年 JCD タカハシツキイチ 30 人展+POY（28 コマ）
- ・2023 年 JCD30 人展+POY（24 コマ）

#### 展示内容

1) 「今、注目される空間デザイナー30名」正会員 30 名の作品展示

参加者：

東、伊東・剣持、伊藤、井上、浦田、大高、大西、岡部、落合、鬼木、折原、笠原、上垣内、  
神田、佐竹、佐藤、佐野、座間、高須、丹羽、袴田、深田、長谷川、平綿・渡部、増田、  
松浦、松本、森井、山中、山本、吉田（敬称略）

※「今、注目される空間デザイナー30名」冊子制作配布

2) 「デザイントーク 15」参加デザイナー15名によるデザイントーク

（15名、各45分間+YouTube配信中）

参加者：東、井上、浦田、大高、大西、岡部、落合、笠原、上垣内、佐竹、高須、丹羽、  
平綿・渡部、松本、（敬称略）

※JCDの説明：村上敦正会員

ファシリテータ：窪田理事長、小坂副理事長、高橋正明氏

3) 「POY 入選製品 12 品展示」

入賞：グランプリ：(株)水田製作所

準グランプリ：(株)ワイ・エム・エス、DN ライティング(株)

サステイナブル・プロダクト賞：and C 株式会社

入選：(株)マストレ・(株)アイチ金属・不二サッシ(株)・(株)GLORY・(株)ユニオン・

四国化成工業(株)・セイショク(株)・(株)平田タイル

4) 「POY 受賞製品プレゼンテーション」（4社、各45分間+YouTube配信中）

グランプリ：(株)水田製作所

準グランプリ：(株)ワイ・エム・エス、DN ライティング(株)

サステイナブル・プロダクト賞：and C 株式会社

POYの説明：斎藤忍正会員

サステイナブル・プロダクト賞の説明：折原理事

5) 「POY 審査員対談」（90分+YouTube配信中）

審査員対談：窪田理事長・折原理事・白木ゆみ香氏、羽隅斉明執行役員

## (2) 支部統括部 (部長：小田秀樹)

### ■令和5年度・全国支部長会議事業報告

- 1) 4月12日(火) 18時30分～Zoom会議を開催(10名参加)
  - 今期から年/5支部開催のイベント名称&テーマを検討した。  
(令和5年度/沖縄支部、中国支部、中部支部、関東支部、東北支部)  
(令和6年度/九州支部、四国支部、関西支部、北陸支部、北海道支部)
  - 開催内容「セミナー、デザイン賞パネル展、学生コンペなど」支部の裁量で開催
  - 開催支部はアーカイブとして「録画、写真、開催レポート」を記録して本部と共用する。
  - 本部開催の「タカハシツキイチ」を支部との共同開催で検討した。
- 2) 6月13日(火) 18時30分～Zoom会議を開催(19名参加)
  - 今回から各支部・副支部長の参加を集った。
  - セミナーの名称を「JCD デザインサーキット〇〇支部」に決定
  - テーマは「次世代に伝えたい事!」「若手発掘や次世代・学生への訴求も含む」
  - 各支部の開催予定日などを確認した。
- 3) 8月28日(月) 18時30分～Zoom会議を開催(17名参加)
  - JCD デザインサーキット〇〇支部/各支部@2年開催を継続開催する事を確認した。
  - 関東支部・村上副支部長から提案された共通ロゴを決定した。
  - 今期開催の各支部のセミナー内容やデザイン賞パネル展の開催日の確認をした。  
(デザイン賞パネルの展示は笠原委員長に許可をいただき、事前書類提出と支部間の輸送は担当支部で打ち合わせをする事とした。)
  - 各支部、セミナー講師の謝礼金を統一して決定した。(経費は各支部の裁量とした。)
- 4) 9月25日(月) 18時30分～Zoom会議を開催(19名参加)
  - JCD デザインサーキット〇〇支部/支部開催時期の確認をした。
  - 各支部開催デザイン賞パネル展とイベントの確認をした。
  - 全国支部長会議・東北支部開催の参加者と集合場所及び解散ルートの確認をした。
  - 全国支部長会議の議案を提案した。
- 5) 10月21日(土) 令和5年度第2回定例理事会に於いてリアル支部長会議の理事分の旅費経費を令和6年度より本部経費として認めていただいた。
- 6) 11月10日～11日 東北支部主催でリアル支部長会議を開催する(23名参加)
  - 10日、仙台駅14時30分集合～松島へ東北支部会員の車で移動して宿泊ホテル「松島・大観荘」にて会議及び懇親会を開催した。
  - 11日、国宝「松島・瑞巖寺」見学～松島遊覧～南三陸町及び女川町の震災復興状況

視察～仙台駅にて解散

7) 23年2月20日(火) 今期最後の全国支部長会議を Zoom 開催 (15名参加)

- デザインサーキットの開催 5支部から内容や参加人数等の報告をうけた。
- 来期開催のデザインサーキットについて関西支部より内容の報告をうけた。
- 窪田理事長より被災地支援と災害時連絡体制の草案を提案いただき意見交換をした。
- 木村北陸支部長より北陸地震の被災状況や支援活動等の報告を受け意見交換をした。

① 北海道支部 (支部長: 高橋 恵)

令和5年度定時総会前夜祭

【日程】令和5年5月11日 椿サロン 総勢17名参加

昨年度の決算報告、今年度の活動について

令和5年度定時総会・臨時理事会・臨時総会・懇親会 in 富山

【日程】令和5年5月27日 高橋、久保2名で参加

運営会議

【日程】6月 7月 8月 9月

デザインキャンプの打合せ、SODAの打合せ、アワードの打合せ

デザインキャンプ

【日程】9月2日 10名参加

洞爺湖にて久しぶりのデザインキャンプを開催しました。 テントを張って泊まるガチキャンプ。自然を満喫しながら飲んで食べて、デザイン談義で盛り上がりました。

6団体合同 デザイナーズクリスマスパーティー

【日程】 12月8日開催 120名の参加 場所 グローヴ

北海道インテリアプランナー協会、北海道インテリアコーディネーター協会、

北海道デザイン協議会、JIA、DSA、JCD北海道支部との6団体合同のイベントでした。

久しぶりのクリスマスパーティーの復活、JIA、SDAの参加もあり120名の出席をいただきました。会の中では、全員によるプレゼント交換やビックバンドの生演奏もあり華やかな雰囲気で開催されました

DESIGN DAYS in 広島

【日程】12月9日、10日

来年の design circuit の為に他支部視察 高橋、久保、石黒の3名にて参加

学生のレベルの高さ、そしてイベントの精度の高さに驚きながら、他支部の良い点を北海道支部でのイベントの際に参考にさせていただき良い機会となりました。

SODA in 桑園小学校 12歳のデザイナー

【日程】 12月13日2コマにて開催

今年は、総合的な学習 働く という授業の中での生き方座談会という授業に参加しました。「デザインの仕事を知ろう」ということで北海道支部からは3名。長谷川さん(デザイナ

一) 江副さん(照明デザイナー) 浄土さん(造園プランナー) という3名から仕事のプレゼンの後、各講師の所に生徒が行きはたらくということについて色々生徒からの質問形式で取材活動が行われました。いつものSODAとは違う形式でしたが、デザイナーの仕事を小学生に知ってもらいたい良い機会だったと思います。

JCD北海道支部新年会

【日程】 1月26日

場所は、中山眞琴アーキテクツの事務所にて賛助会員の方も含めて12名の参加。  
事務所ツアーの後中山事務所OBの方々と合同での新年会を開催しました。

北海道支部デザインアワード、パネル展

【日程】3月22日(金)～25日(日)

場所 地下歩行空間 チカホ アワード応募作品数33点  
審査員 理事長 窪田 茂さん 副理事長 小坂 竜さん デザイン賞委員会 委員長  
笠原 英里子さん

3氏にお願いして審査して頂きました。審査ありがとうございました。

今年の作品は、バラエティーに富んだ作品が多数そして僅差の作品が多く審査員特別賞の他に個人賞も選んでいただきました。

最優秀賞 Lo Villa 1 中山眞琴アーキテクツ  
優秀賞 Lo Villa 2 中山眞琴アーキテクツ  
優秀賞 ASAHIKAWA DESIGN CENTER 街制作室+アトリエテンマ  
審査員特別賞 火曜日のタエコ 五十嵐淳建築設計事務所  
窪田賞 きらめきランドリー 弘田亨一設計事務所  
小坂賞 BURROW 宮城島崇人建築設計事務所  
笠原賞 rangelife FUZ design

3月22日 トークセッション 倉俣史郎を語る 場所 椿サロン  
建築家 五十嵐淳氏 ジャーナリスト ジョースズキ氏をお招きして開催  
ファシリテーター 北海道支部会員の長谷川さん  
その後 懇親会を開催しました。

## ② 東北支部(支部長:大塚真司)

### ■東北支部役員会

【日程】5月12日 【場所】アルコア事務所 【参加】8名

【概要】今期スケジュール・予算案

### ■JCD/DSA/SDA 3団体合同活動会議

【日程】6月20日 【場所】アルコア事務所 【参加】DSA 1名 SDA 2名 JCD 2名

【概要】今期合同活動内容の決定

### ■東北支部総会・賛助会員商品PR会・デザイン勉強会

【日程】6月30日 【場所】アルコア会議室 【参加】正会員・賛助会員計37名

【概要】(株)遠藤照明・(株)小松木工・松下産業(株) 3社の商品説明会

(有)ブラッシュアップ 佐藤幸喜正会員の作品紹介

■東北支部ゴルフコンペ

【日程】7月1日 【場所】仙台市 仙台ヒルズ GC 【参加】12名

■JCD/DSA/SDA 3団体合同活動会議

【日程】7月13日 【場所】アルコア事務所 【参加】DSA 1名 SDA 2名 JCD 2名

【概要】今期合同活動内容の日程調整

■OGATAYAMA 視察会 (JCD/DSA/SDA 3団体合同開催)

【日程】7月28日 【場所】仙台市 泉ヶ岳 OGATAYAMA 【参加】22名

【概要】正会員 尾形欣一氏の自宅兼ギャラリーの見学会

■ビア・パーティー (JCD/DSA/SDA 3団体合同開催)

【日程】7月28日 【場所】仙台駅前アロハテーブル 【参加】19名

■JCD/DSA/SDA 3団体合同活動会議

【日程】8月29日 【場所】アルコア事務所 【参加】DSA 1名 SDA 1名 JCD 2名

【概要】各日程の決定と概要案

■JCD/DSA/SDA 3団体学校訪問

【日程】10月19日

【訪問先】仙台工科専門学校 建築デザイン学科 星野学科長 他 【人数】3名

【概要】各団体活動趣旨及び活動内容説明・活動への参加依頼等

■全国リアル支部長会議 in TOHOKU

【日程】11月10日～11日 【場所】松島市～南三陸町

【参加】理事17名 支部アテンド4名

【概要】リアル支部長会議(松島大観荘) 松島市/南三陸町/女川町 震災復興状況等視察

■JCD/DSA/SDA 3団体学校訪問

【日程】11月14日 【訪問先】東北大学大学院 工学研究科 五十嵐教授

【人数】4名 【概要】各団体活動趣旨及び活動内容説明・活動への参加依頼等

■JCD/DSA/SDA 3団体学校訪問

【日程】11月17日

【訪問先】東北工業大学建築学部 建築学科 福屋教授・錦織准教授 【人数】3名

【概要】各団体活動趣旨及び活動内容説明・活動への参加依頼等

■東北支部ゴルフコンペ

【日程】11月25日 【場所】川崎町 杜の公園 GC 【参加】11名

■支部忘年会

【日程】11月30日 【場所】仙台市 おでん三吉 【参加】24名

■東北支部役員会

【日程】1月11日 【場所】アルコア事務所 【参加】8名

【概要】パネル展・デザインアワード打合せ・来期活動スケジュール

■デザインサーキット in TOHOKU

【日程】2月2日 【場所】せんだいメディアテーク スタジオシアター 【来場者】106名

【登壇者】小坂副理事長・折原理事・大塚支部長・浅川副支部長・吹浦透正会員・加藤景子正会員

【概要】第一部：小坂竜氏トークイベント 第二部：トークセッション

■日本空間デザイン賞+日本サインデザイン賞 2023 受賞作品展示会（JCD/DSA/SDA 3 団体合同開催）

【日程】2月2日～6日 【場所】東北工業大学一番町ギャラリー 【来場者】40名

【概要】各デザイン賞表彰作品パネルの展示

※今期は、東北全体のデザイン業界の発展と認知度の向上を目指すべく、大学の建築系学部・専門学校へ訪問し JCD 活動趣旨の説明、イベントへの参加を呼びかけました。

また、日程の都合で Soda は開催出来ませんでした。その他活動に於いて、正会員作品表会、OGATAYAMA 視察、デザインサーキット等、デザインに関する勉強会を精力的に行いました。

③関東支部（支部長：木村倫香）

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長、木之内憲子委員

○令和5年度下期事業報告

1. 2024年2月9日「とくトーク」⇒会場：マジスジャパン・ショールーム開催

トークゲスト：新藤 力「ぐんかんとジャガイモ」

■支部賛助委員会：品川正之委員長、原康喜副委員長、松田好且副委員長、藤原巧副委員長、棟方義雅副委員長、藤光祐副委員長

○令和5年度活動報告

・今年度上期の支部賛助委員会は4月18日(火)、5月16日(火)、6月20日(火)、7月26日(水)、9月19日(火)、10月24日(火)、11月14日(火)、1月17日(水)、2月20日(火)の計9回行った。

・関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図った。

※正会員の委員会への参加要請、本部賛助委員会、Soda 委員会への協力等。

・交流を促進するための恒例の親睦イベントを企画した。

※BBQ 会を7月29日(土)豊洲の WILD MAGIC にて、参加者31名により行った。

※熱海海上花火会を8月25日(金)真鶴港～熱海沖にて、参加者30名により開催。

※ボーリング会を3月19日(火)笹塚ボールにて参加者〇〇名により開催(予定)。

- ・本部賛助委員会主催のプロダクトアワード開催に協力した。
- ・JCDデザインアワードの開催に協力した。
- ・研究セミナー委員会と協議しノレンカイ協力でトーク(2月9日(金))を開催した。

■広報委員会：大滝道晴委員長

○令和5年度年度活動報告

・機関誌『JCD KANTO』

6月号発刊

12月号発刊

\*以上の2回をもちまして、紙媒体による機関誌を終了とします。

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄委員

○令和5年度事業報告

「JCD関東支部ウェブサイト」の監理とSNS関東支部ページの監理

- 1) 関東支部会員変更による更新作業を実行
- 2) 関東支部賛助会員変更による更新作業を実行。
- 3) 関東支部イベントの情報の更新作業を実行。
- 4) 新規会員、新規賛助会員のウェブサイトでの紹介情報アップ

■交流委員会：折原美紀委員長、村上敦副委員長

○令和5年度下期の活動報告

- ・11月27日に関東支部主催のデザインサーキットの運営サポートを行いました。
- ・デザインサーキット等のイベントが重なったこともあり、パーティーが開催出来ませんでした

■特別委員会：香野明穂委員長、山岸布美副委員長

○令和5年度報告

韓国研修旅行を実施いたしました。

- ・2023年10月31日～11月3日(3泊4日)
- ・参加者 12名 (正会員8名 賛助会員3名 他1名)

ソウル及びプサンの2都市を訪れ、現代韓国の建築やデザインスポットを多数訪れました。現地のおいしいものもよく食べよく飲み、充実の旅となりました。

④ 北陸支部(支部長：木村嘉秀)

●5月26日～28日 JCD総会 IN 北陸

26日前夜祭 参加者40名 旬彩料理 順風満帆

27日総会 参加者 69名 富山問屋センター流通会館

懇親会 参加者 68名 トトン

二次会 参加者 55名 ハナミズキノヘヤ

収支報告 収入 1,180,000円 (本部補助金 50万含む)

支出 1,157,382円 22,618円黒字

皆さまご参加ありがとうございました。

●8月11日(金) 山の日 立山登山実施

参加者 4名 (うち JCD メンバー 2名)

室堂ターミナル→大走り→富士の折立→大汝山→雄山 を縦走

晴天の中 最高の登山ができました。

●8月28日～30日 3DAYS デザインインターンシップ開催

トミソー スタジオシュワリ 合同でのインターンシップを開催しました。

参加学生 2名

●12月9日、10日 中国支部デザインデイズに木村・三井の二名で参加

●12月20日(水) JCD 北陸支部忘年会 マルギン 11名参加

●令和6年1月27日(土) 空間デザインフォーラム開催(25回目) 北陸アート院2階

中村竜治氏 川上すみれ氏 田中利岳氏 の3名をお迎えして開催

25回目という事で3名のトークセッション後に立食形式のトークテーブルも開催。

震災後という事もあり、過去2回よりも参加人数は減りましたが50名ほど参加頂きました。

●2月26日(月) デザインフォーラム反省会開催

JCD 北陸メンバー 5名 DSA 北陸メンバー 4名で金沢にて開催

かっぱう居酒屋水魚 震災の風評被害でキャンセル相次ぐ金沢にお金を落とそう企画。

今期は総会北陸にて開催しまして沢山の方に来ていただけ、楽しんで頂けたと感じます。

北陸メンバーの結束も強くなりました。正会員も増えそうです。ありがとうございました。

恒例のデザインフォーラムも25回目となり、初めて立食形式のトークテーブルを開催しま

した。参加した学生さんや一般の方からも好評を頂いたので、今後は JCD 単体の企画でも

トークテーブルを実施していこうと考えています。

⑤ 中部支部 (支部長: 鳥居佳則)

5月26、27日 全国定時総会参加(鳥居)北陸支部の富山にて開催

7月24日 第3回「中部商空間賞」学生部門 審査会開催

(加藤吉宏、丹羽、鳥居、外部から大学教授ら2名参加)

8月3日 第2回デザイントークセッション「SASHIDE」開催

- ・加藤吉宏×永治裕太(外部の建築家)
  - 10月25日 第1回「JCD デザインサーキット イン中部」開催
    - ・「中部商空間賞」第3回学生部門、第6回一般部門合同贈賞式 開催
    - ・ 会員デザイナーと学生受賞者のトークセッションを開催(67名参加)
  - 11月10,11日 第1回「全国支部長会」参加(小関、鳥居)東北支部の松島にて開催
  - 12月9,10日 第18回 JCD 中国支部デザインデイズに参加(鳥居)
    - ・2日間に渡り学生コンペの審査員として参画
  - 12月14日 第3回デザイントークセッション「SASHIDE」及び大忘年会開催
    - ・中川健司×福井直人(外部のインテリアデザイナー)69名参加
  - 1月25日 CCDO 令和6年新年会参加(不破、鳥居)
    - ・JCD 中部下半期活動報告(鳥居)
  - 1月26日 デザイントリプレックス20 準備ミーティング参加(尾西、鳥居)
  - 2月15日 支部会議
    - ・第4回デザイントークセッション「SASHIDE」について
    - ・デザイントリプレックス20について会議
    - ・「中部商空間賞」第4回学生部門公開審査について
  - 2月14日～19日 デザイントリプレックス20 開催
    - ・「日本空間デザイン賞」受賞作品パネル展示
    - ・2/16 デザインセミナー及び懇親会開催(ジブリ製作秘話/乃村工藝社)
- 98名参加

⑥ 関西支部(支部長:中村裕輔)

■USD-O 大阪デザイン団体連合との取り組み(万博委員会)

■関西支部・各員会の合同委員会の実施(月1回)

■機関紙「JCD kansai」の発刊

7月20日～21日 JAPAN SHOP 大阪の協力

開催場所:インテックス大阪 来場者数12,000人

大阪にて初開催のジャパンショップの出展。

大阪デザイン団体連合USD-Oとして6団体合同の展開。

10月27日 NEXT GENERATION 「デザイナーとメーカーの新しいカタチ」Vol.1 開催

開催場所:遠藤照明 SR

参加人数:43人 参加企業:12社

次世代を担う若手の賛助会員とデザイナーのトークセッション

「最近気になる商材は？」「チームパートナーの役割と意義」

11月 関西学生シンポジウムへの参加

JID・USD-0 共済 東理事・斉藤委員長が登壇

12月6日 クリスマスイベント デザイナーとメーカーの新しいカタチ」Vol.2 開催

開催場所：遠藤照明 SR 参加人数：93人（賛助会員39名、デザイナー43名）

トークセッションとアフターパーティ、ライブイベント

1月9日～21日 絵馬展の開催

大阪デザインセンターにてUSD-0主催にて開催。

1月17日 大阪市商店会総連盟主催 大阪市あきないグランプリ表彰式

JCD賞の表彰

2月7日 mebic主催 空間プロデュース展への参加

開催場所：大阪産業創造館 来場者数：455人

DSA 関西との共同開催

2月17日 修成建設専門学校 教育課程編成委員会（卒計審査）への参加

#### ⑦ 中国支部（支部長：藤坂浩匡）

中国支部の活動方針は昨年度同様「全国のJCDメンバーとの交流から商空間デザインのレベルアップへ」をテーマに活動してきました。コロナも収束へ向かうであろう本年度は、今まで以上に活動・行動ができる年度と捉え、富山での定時総会を始め、各支部の事業にも積極的に参加し、その地域ならではの取り組みを肌で感じ、JCDメンバーとより一層深い交流を行ってきました。支部内で積極的に声掛けをして多くのメンバーで各支部へ出向くことが出来ました。お陰様で沢山のメンバーと懇親を深める事が出来たと思っています。

##### 5年度事業内容

- 組織改革・・・若手正会員の増強（1名）、賛助会員との連携強化（5社）、退会（1名）  
組織改革として支部会員制度を導入（支部会員1名）

##### ● 例会活動

令和5年4月21日（岡山）参加者：正会員11名、賛助会員16名、オブザーブ2名

ミニセミナー無し 懇親会：29名

令和5年6月23日（福山）参加者：正会員14名、賛助会員17名、オブザーブ1名

ミニセミナー：(株) ビートソニック 懇親会：29名

令和5年8月25日（広島）参加者：正会員16名、賛助会員20名、オブザーブ1名

ミニセミナー：正会員（野田大策・原浩二） 懇親会：36名

令和5年10月13日（岡山）参加者：正会員10名、賛助会員17名、オブザーブ1名

ミニセミナー：SANEI（株） 懇親会：25名

令和4年12月15日（福山）参加者：正会員8名、賛助会員11名、オブザーブ2名

ミニセミナー無し 懇親会：21名

令和4年2月16日（広島）参加者：正会員12名、賛助会員15名、オブザーブ5名  
大学生3名

ミニセミナー：(株)ハナムラ 懇親会：30名

●デザイン研修

「2023年度デザイン研修ツアーHong Kong M+ and others」

日時：令和5年10月6日～9日 場所：香港 参加者数：9名

●地域活動

・JCD design circuit「第18回JCD中国支部デザインデイズ IN 広島 2023」

日時：令和5年12月9日～10日

場所：合人社ウェンディひと・まちプラザ 北棟4Fギャラリー

内容：学生デザインリーグ48作品・JCD中国支部空間デザイン賞20作品

・日本空間デザイン賞展示・基調講演セミナー「次世代に伝えたい事」

パネラー：長谷川 演 氏 参加者：9日76名、10日73名

●鍋塾・工場見学

令和6年3月8日～9日 広島～山口 株式会社みうら工場見学 参加者数7名

⑧ 四国支部（支部長：日下大祐）

今年度は合同イベント四国デザインフュージョン 2023 にて念願の学生アワードリアルイベントを開催でき、次世代に向けた認知、発信の第一歩になったと思います。

また、他団体、他業界との合同企画参加等にて交流、活性化ができリアル支部長会参加等にて他支部との交流、イベント情報交換をさらに深めて次年度に向けての支部のさらなる魅力創り、活性化に足がかりができたかと思っています。

4月 4月例会お花見「たどつ編」を開催

5月、北陸支部定時総会出席

6月、支部例会 高松市丸亀町シードラゴンで開催

9月、支部例会サンポート MIKAYLA（ミケイラ）で開催

10月、5団体共催の合同イベント四国デザインフュージョン 2023 を、10月14日、15日に香川県文化会館にて開催

香川のデザイナーが推す椅子展として貴重な椅子を45点以上展示

JCDのPRブースもPVを含めてアワードの展示パネルも展示

7回目にして念願の『学生アワード』も開催され、10月15日はリアル公開プレゼン及び贈賞式をおこないました。

10月14日には合同懇親会を開催

11月、東北支部全国主催 全国支部長会参加

12月、中国支部主催の中国デザインDaysに参加

12月、支部例会 高松市内パールガーデンにて四国支部合同懇親会（忘年会）を開催

1月、賀詞交換会出席

2月 建築士会合同イベントサンポート MIKAYLA（ミケイラ）参加

3月、支部例会開催予定

## ⑨ 九州支部（支部長：深町俊彦）

### (1) 業務委員会

#### ○月例会の開催（基本毎月第三金曜日/大光電機会議室 or 貸会議室使用）

毎月開催の月例会ですが、例年通り賛助会員にも参加いただき、リアルで毎回開催しました。運営会議の冒頭に商品 PR や企業セミナーなどを行いました。

デザインスクールキャラバンの取組みの協議を行う中、九州支部の新たな事業計画を検討する有意義なものになっています。

月例会終了後には参加者で懇親会を行いコミュニケーションが取りました。

#### ○SODA 活動の開催

コロナ禍の影響でここ数年開催が出来ずにいましたが、本年度は2校で行いました。

##### ・デザインスクールキャラバン JCD（高木小学校・11月開催）

『自然と共存するこれからの井尻商店街』をテーマにまちづくりの仕組みを考えて

私たちの街を元気のある住みやすい街に出来る公園のある商店街を創りました。

##### ・デザインスクールキャラバン FDL（東若久小学校・12月開催）

※自分の名前前のイメージや漢字の意味から発想を広げてこの世に1体だけのモンスターを創造し自分だけのオリジナル学習モンスター「ガクモン」を考えて、描いて、バトルして、学ぶゲームを行いました。

両校とも、デザインの楽しさ（考えたものをカタチにすること）を伝えられ有意義なモノになり今後に繋がっていくことに期待しています。

#### ○FUKUOKA デザインリーグ運営会議の参加

FUKUOKA デザインリーグの団体会員として運営会議に毎月 ZOOM or リアルで参加し、これからの取り組みや今後のあり方などについて意見交換し、FDLの今後の方向性の協議が継続中です。

#### ○日本空間デザイン賞・パネル展

福岡市美術館にて開催しました。2024.1.15（火）～1.21（日）

日本空間デザイン賞と日本サインデザイン賞の共同開催として行いました。DSA と調整後、SDA との共同開催で九州の3団体での開催でした。464名の来場者がありました。

### (2) 交流委員会

○今回初めて他支部のイベントに4名にて参加（デザインサーキット in 中国支部）

他支部の取り組みに良い触発を受け、今後の支部の事業計画の参考になりました。

○各種セミナー参加

賛助会員の各種イベントやセミナーに参加しました。

○ビアパーティーの開催

7月天神スカイビアテラスにて27名の参加です。

「飲むバイ・酔うばい・JCD」をテーマに楽しい暑気払いとなりました。

○ゴルフコンペの開催

10月に第2回九州支部ゴルフコンペを行いました。

賛助会員にも参加して頂き、参加者も少しずつですが増えています。

○忘年会・新年会の開催

忘年会は賛助会員にも沢山参加いただき30人の参加により、盛大に盛り上がりました。会員間のコミュニケーションも深まり、情報共有とモチベーションを上げる大変良い宴となりました。

(3)広報委員会

○支部ホームページやFacebook・Instagramを運営しています。

ホームページやFacebook・Instagramを活用しJCDの知名度拡大や会員増強のためにも、SNS発信を積極的に行っています。

<総評>

本年度も昨年に引き続き、新たな事業展開をどのように盛り上げ、正会員増につなげていくかを協議する機会が増え参加メンバーの意識が良い方向に行き共有していくことができています。

その他の交流活動は毎月、リアル開催が定例化していますので、参加者を増やし、良いコミュニティの場なるように、今後も継続して行いたいと思います。

広報活動のSNS運営などは、まだまだ検討改善部分が沢山あり、今後も充実の内容を発信していける様に取り組みます。

また、JCD-kyushuのフェースブックのページの充実を図っていきます。

皆で充実した事業を行い、正会員増の取組みを共有できるメンバーが増えていく流れが出来てきた様に思われます。

毎月の協議会の参加者は確実に増えていますので、今後に期待をし、会員数を増やす取組みに力を入れていきます。

⑩ 沖縄支部（支部長：山里健市）

R4年4月 ◇支部定例会の開催。

5月 ◇定例理事会・定時総会への参加（沖縄支部 1名）

- 6月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告
  - ◇支部長会議（ZOOM）参加
  - ◇デザイン賞 実行委員会スタート
- 8月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告
  - ◇「JCD CREATERS BBQ 2023」を開催。約70名に参加頂き 大盛況となりました。
- 10月 ◇支部定例会の開催 各委員会報告
  - ◇理事会へ出席
- 11月 ◇支部長会議（仙台）へ出席。
  - ◇JCD 沖縄 空間デザイン賞 贈賞式・トークイベント開催
- 12月 ◇支部定例会の開催
  - ◇忘年会の開催。約70名に参加頂き 大盛況となりました。
- 2月 ◇支部定例会の開催
  - ◇西原南小学校6年生 54名 へSODA 開催予定（2月28日）
- 3月 ◇定例理事会

〈総 評〉

第三回 JCD OKINAWA 空間デザイン賞 2023 を開催致しました。

商空間・住空間という2つのカテゴリーで作品募集し、商空間 40 ・住空間 25 計 65 作品の応募を頂きました。建築家協会沖縄支部、沖縄県建築士会からも審査に加わって頂き JCD からは窪田理事長、小坂副理事長、折原理事、谷尻理事、計6名に審査して頂きました。印象として、応募数は2019年よりも減となりましたが、建築設計・内装設計 共に10社ほど新規応募を頂いたので、デザイン賞自体が 確実に浸透してきております。その後の贈賞式・トークイベントを沖縄県立博物館・美術館で開催し、建築インテリア科の学生を含む 約100名の方が来場。

その後の懇親会にて入賞者との懇親を図り1名、正会員入会を頂きました。

西原南小学校6年生を対象にSODAを開催予定です。（2月28日）インテリアコーディネーター協会に講師協力を頂きながら今回も建築・インテリア科の学生5人を講師として「教える側の立場」で子供達とふれあい、一緒に製作する予定で 学生にも良い経験になると思います。

### （3） 総務部（部長：太細 通）

#### ① 財務委員会（委員長：太細 通）

今年度の事業活動収入合計は、昨年度に比べ会費収入では、賛助会員は全国・支部あわ

せて約 84 万円、5.0%の増収、正会員は約 19 万円増となり、合わせた会費収入は約 102 万円、3.0%の増収となりました。また事業収入は、展示会収入が前年度に引き続き JapanShop2023 で JCD 独自のブースを展示しましたが主催者の日経新聞社から協賛額を増やしていただき 143 万円増収、設計奨励事業は DSA と統合しました 5 回目の日本空間デザイン賞の DSA との応募料配分見直し及び応募数の微増により、昨年度から約 70 万円、7.4%と増収、中国デザイン団体からイベント参加費として 60 万円、また総会と賀詞交歓会の参加者増で合計約 31 万円増収になりました。しかし講習会、研究会、研修会の参加料は会員増の活性化策のための参加料の減額等により約 148 万円減収になりました。プロダクトオブザイヤーの企業奨励事業収入も約 20 万円減収となりました。結果、他の事業との合計での事業収入は約 39 万円、1.6%の増収になりました。また昨年度はコロナ禍の給付金等の雑収入が約 120 万円ありましたが今年度はなくなりました。結果、事業活動収入は合計で 5,842 万円と昨年度から約 30 万円の微増、予算に対しては 5.8 %減収になりました。

事業費支出の主だった項目は、日本空間デザイン賞の設計奨励費が 819 万円、JCD 独自の展示ブースを設けました Japan Shop2023 等の展示会費が 825 万円、総会費及び支部活性化のために支部持ち回りで開催しました支部長会と合わせ 353 万円、広報費が 216 万円、徐々にリアル開催を始めました講習会費が 220 万円、企業奨励費が 108 万円、研究会費が 58 万円、等でした。結果事業費合計は 3,986 万円、昨年度より 319 万円、3.7%増、予算よりは約 455 万円、約 10%減でした。また管理費支出では、今年度は北陸支部での定例理事会・定時総会の開催により昨年度の北海道支部（札幌）開催より旅費交通費は約 35 万円減になりましたが、租税公課の消費税の増により管理費計は昨年度より約 61 万円、4.1 %増、予算よりは約 151 万円、9.0%減の 1,535 万円になりました。結果事業費と管理費を合わせた事業活動支出合計は昨年度決算額より 380 万円、約 7.4%増、予算に対しては約 606 万円、9.9%減の 5,520 万円となりました。

以上より、収支差額は約 299 万円の黒字を確保できました。前年度決算額より大幅な約 373 万円減、約 56%の減になりました。しかし予算よりは 223 万円増となりました。昨年度より大幅に収支差額が減少したのは、各支部で巡回セミナー・研修会を開催した費用によります。

本部及び 10 支部を個別にみますと、本部と 6 支部は黒字を確保できました。北海道支部約 11 万円、東北支部約 36 万円、中部支部約 39 万円、沖縄支部約 13 万円と 4 支部は赤字になりました。これらは支部の会員増施策の巡回セミナー・研修会等の事業活動、及び会議や旅費交通等の事業活性化によるものですが、赤字 4 支部とも繰越収支差額で十分カバーできています。

まだ本部、10 支部とも次期繰越収支差額に十分余裕がありますので、本協会の社会的地

位の向上や会員獲得に役立つ活動への活用をよろしくお願いたします。

一般社団法人への移行 11 年度目でしたが、コロナ明けでリアルに活動を行えるようになり、JCD の社会的地位の向上に役立ったと思いますし、その上での黒字と良い結果となりました。

② 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

各支部長等より、功労賞候補会員の推薦を受け、メール等で委員間の意見交換・検討を重ね、以下の候補会員を令和 5 年度第 1 回臨時理事会に推挙し、承認されました。

1) JCD 特別功労賞

長谷川 演正会員（北海道支部）

往蔵 稲史仁正会員（関東支部）

星 明臣正会員（関東支部）

2) 支部功労賞

菊地 一彦正会員（関東支部）

長尾 勝彦正会員（四国支部）

建設事業関係功労者表彰（「国交省大臣表彰」と略）

昨年度は、小坂 竜正会員（副理事長）が大臣表彰の栄に浴しました。

令和 6 年は、武石 正宣正会員（理事/国際委員長）を推挙・申請しております。

「国交省大臣表彰」については、候補者申請を継続していきます。

### 3. その他会務に関する事項

(1) 会務などの状況

総会（1 回）

令和 5 年度定時総会

期日：令和 5 年 5 月 27 日 会場：問屋センター流通会館 大ホール

社員出席：261（内委任状 40、議決権行使 175）名

理事会（3 回）

第 1 回定例理事会 期日：令和 5 年 5 月 27 日

会場：問屋センター流通会館 中ホール

出席理事：21 名

第2回定例理事会 期日：令和5年10月21日 会場：東京デザインセンター8F  
出席理事：24名

第1回臨時理事会 期日：令和6年3月16日 会場：東京デザインセンター8F  
出席理事：22名

#### (2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同)において、活動に担当を派遣した。また、日本インテリアデザイナー協会「World Interior Week 2023 in Japan」、日本サインデザイン協会「第57回日本サインデザイン賞」、修成建設専門学校「卒業展 2024」、BCウッド日本事務所「第20回グローバル・バイヤーズ・ミッション国際展示会&視察ツアー2023」ライティングオブジェ 2023、香港貿易発展局「DESIGNART TOKYO 2023 Designinspire In motion」等への後援や、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2024」「建築・建材展 2024」、日本能率協会「Japan Home & Building Show 2023」、日本ショッピングセンター協会「第48回全国大会」等への協賛を行った。

## 4. 会員の移動状況

	令和4年度期末	年度内増	年度内減	令和5年度期末
正会員	442名	33名	18名	457名
賛助会員	226社	29社	12社	243社
名誉会員	7名	0名	1名	6名

※名誉会員の小野木裕氏が令和元年以前にご逝去されていたことが判明いたしました。

## 5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の19名である。

・退会申し出による者 18名

(北海道支部) 平尾 哲

(東北支部) 福士晴也

(関東支部) 宇賀博之、小美濃隆、草野紀親、櫻井良一、ダニエル・ハリス・ローゼン、

正木正弘、松葉邦彦、森田寛、安井秀夫

(関西支部) 大東俊也、平井隆嗣

(中国支部) 久保綾子

(四国支部) 松本英幹、森岡 孝

(沖縄支部) 上原牧子、平良玄峰